2022年版　環境経営レポート

（点いていないストーブ前に整列する猫）

発行年月日　　2023年　　8月　　30日

株 式 会 社　香　川　建　設

目　　次

１．組織の概要

２．対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日

３．環境経営方針

４．環境管理組織体制

５．環境経営活動への取組の全体概要

６．環境経営目標

７．環境経営計画

８．環境経営目標の実績

９．環境経営計画の取組結果とその評価

１０．次年度の取組内容
（１）環境経営目標
（２）環境経営計画

１１．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、
　　訴訟等の有無
１２．代表者による全体評価と見直しの結果

１３．その他の取組

1.組織の概要

【事業所名】　　株式会社 香川建設

【代表者氏名】　代表取締役　香川 豊彦

【所在地】
　本社　　高知県長岡郡大豊町戸手野1360番地
資材倉庫　　高知県長岡郡大豊町戸手野1360番地

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】
環境管理責任者氏名　　取締役　香川明子
連絡先担当者　　取締役　香川明子
連絡先　　ＴＥＬ：0887-57-9211
　　ＦＡＸ：0887-57-9726
　　Ｅ－ｍａｉｌ：akiko@ca.pikara.ne.jp

【事業活動の内容についての簡単な記述】
建設業（主に県、役場発注の建設工事を行っています。）
建設業許可　　高知県知事許可　(特-3)
　許可番号　　第2791号
　許可年月日　　令和3年9月10日
　建設業の種類　土木工事業、石工工事業、舗装工事業、塗装工事業、
　　解体工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業、
　　しゅんせつ工事業、水道施設工事業

【事業規模】
設立年月日　昭和32年12月
資本金　　20,000千円
売上高　　788,359千円(令和5年6月末)
従業員数　　40名(令和5年6月末)

	2020　年度	2021　年度	2022　年度
製品生産量・出荷額（売上高）（千円）	1,139,600	1,089,552	788,359
従業員数　（名）	37	40	40
事業所敷地面積　（m2 ）	16504	16504	16504
事業所延べ床面積　（m2 ）	1209.5	1209.5	1209.5

従業員数は、　6月　30日現在

会計年度　　2022年7月～2023年6月

２．対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】
株式会社　香川建設　全社

本社	高知県長岡郡大豊町戸手野1360番地	（常駐者：　4名）
資材倉庫	高知県長岡郡大豊町戸手野1360番地	（常駐者：　1名）

対象事業：　土木工事業、石工工事業、舗装工事業、塗装工事業、
解体工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業、
しゅんせつ工事業、水道施設工事業

【レポートの対象期間】
2022年7月～2023年6月

【環境経営レポートの発行日】
2023年8月30日

【作成責任者】
環境管理責任者　香川 明子

３．環境経営方針

【環境経営理念】

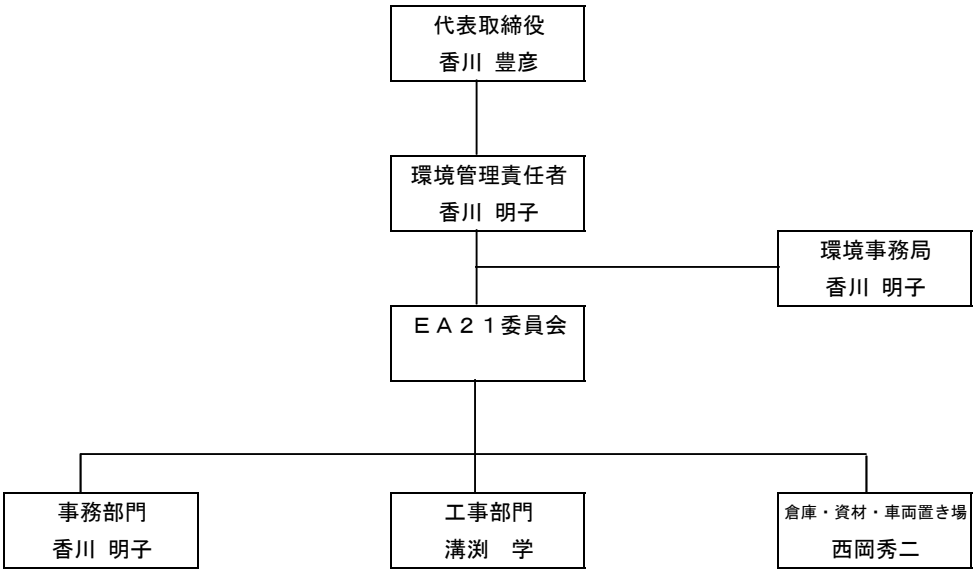
株式会社香川建設は、吉野川、穴内川の清流と豊かな山林を擁する高知県中部の大豊町にあり、建設業を通じて社会基盤の整備に取り組んでいます。
この自然豊かな大豊町を次世代に引き継ぐことを目標とし、自然と人が共生してゆける活力あるまちづくりへの貢献、維持向上に努め、地域社会から信頼される企業を目指します。
株式会社香川建設は、地場の建設業として、地域環境の保全と重要性を認識し、環境負荷の低減を図るものとし、環境保全活動に自主的、積極的にかつ継続的に取り組みます。

【環境経営方針】

1. 環境関連法規を遵守します。
2. 車両・機械等の燃料使用量の削減により二酸化炭素の排出量削減に努めます。
3. 電気使用量の削減により二酸化炭素排出量の削減に努めます。
4. 低騒音・低排出ガス型建設機械の使用に努めます。
5. 環境に優しい資材の使用、周辺環境に配慮した施工及び生物多様性に配慮した施工に努めます。
6. 建設現場での産業廃棄物排出量の抑制、削減及びリサイクルに努めます。
7. 本社業務における一般廃棄物排出量の削減に努めます。
8. 水使用量の削減に努めます。
9. 事務用品及び調達資材のグリーン購入を推進します。
10. 地域ボランティア活動等に積極的に参加します。
11. 環境経営方針を全従業員に徹底周知し、その達成に向けて環境経営目標、環境経営計画を設定し、一致団結して取り組みます。また、社員教育を実施し、環境経営への意識向上に努めます。
12. 環境経営レポート等環境情報について広く外部公表致します。

制定日　2015年10月1日
改定日　2022年8月22日
代表取締役　香川 豊彦

４．環境管理組織体制



環境管理システム　役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を承認 ・課題とチャンスの明確化 ・代表者による全体評価と見直し実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、ＥＡ２１委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開
部門長	・自部門における環境経営方針の周知、従業員への環境教育訓練実施 ・自部門に関係する環境経営計画の実施、達成状況報告 ・自部門に関係する緊急事態訓練の実施 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

５．環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「２０１７年版エコアクション２１ガイドライン」をもとに、環境負荷の自己チェックを行い
環境経営目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

＜全体概況＞

〇燃料使用量、電力使用量については、従業員の努力により真摯に取り組むことが出来ました。
　この結果、二酸化炭素排出量の大幅な削減ができました。
〇燃料使用量の削減については、アイドリングストップ等周知徹底し、燃料の削減に
　取り組んでいます。
〇環境美化活動についても、本年度は、ロードボランティア活動（12回）実施し、
　国土交通省主催の88ウォーク（2022年8月8日）に参加しております。

（88ウォーク）

＜株式会社 香川建設の物質フロー＞（2022年度）

６．環境経営目標　　（　2022年度　）

（１）単年度目標

項目	総量・原単位	単位	基準年 2019年度 2019.7-2020.6	2022年度 目標 2022.7-2023.6
売上高		百万円	659	659
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	44,361	43,474
	原単位	(ℓ/百万円)	67.3	66.0
軽油使用量	総量	(ℓ)	129,874	127,277
	原単位	(ℓ/百万円)	197.1	193.1
灯油使用量	総量	(ℓ)	269	264
	原単位	(ℓ/百万円)	0.4	0.4
ＬＰＧ使用量	総量	(ｋｇ)	33	32.3
	原単位	(ｋｇ/百万円)	0.1	0.0
電力使用量	総量	(ｋＷｈ)	22,353	21,906
	原単位	(ｋＷｈ/百万円)	33.9	33.2
CO_2 排出量	総量	(ｋｇ－CO_2)	454,386	445,298
	原単位	(ｋｇ－CO2/百万円)	689.5	675.7
用水使用量	総量	(m^3)	152	149
	原単位	(m3/百万円)	0.2	0.2
一般廃棄物排出量	総量	(ｋｇ)	780	764
	原単位	(ｋｇ/百万円)	1.2	1.2
産業廃棄物排出量	総量	(ｔ)	1,200	1,176
	原単位	(ｔ/百万円)	1.8	1.8
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	97.0	100.0
グリーン購入	総量	(%)	65.0	66.3
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100.0	100.0
環境美化活動	総量	(回)	5	6

＊１．電力のCO_2発生量については、電気事業者別のCO_2排出係数（2018年度実績）
（2020年1月17日公表）の四国電力の調整後排出係数0.528（kg－CO_2／ｋＷｈ）を使用した。
＊２．グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合（%）
＊３．環境負荷の少ない工事
〇環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用
〇低騒音、排出ガス対策型重機の使用
〇型枠、工事看板への間伐材の使用
〇濁水防止対策の実施
〇法面緑化工事の実施

（２）中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2019年度 実績（基準年）	2022年度 目標	2023年度 目標	2024年度 目標
売上高		百万円	659	659	659	659
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	44,361	43,474	43,030	42,587
	原単位	(ℓ/百万円)	67.3	66.0	65.3	64.6
軽油使用量	総量	(ℓ)	129,874	127,277	125,978	124,679
	原単位	(ℓ/百万円)	197.1	193.1	191.2	189.2
灯油使用量	総量	(ℓ)	269	264	261	258
	原単位	(ℓ/百万円)	0.4	0.4	0.4	0.4
ＬＰＧ使用量	総量	(ｋｇ)	33	32	32	32
	原単位	(ｋｇ/百万円)	0.1	0.0	0.0	0.0
電力使用量	総量	(ｋＷｈ)	22,353	21,906	21,682	21,459
	原単位	(ｋＷｈ/百万円)	33.9	33.2	32.9	32.6
CO_2 排出量	総量	(ｋｇ－CO_2)	454,386	445,298	440,754	436,211
	原単位	(ｋｇ－CO2/百万円)	689.5	675.7	668.8	661.9
用水使用量	総量	(m^3)	152	149	147	146
	原単位	(m3/百万円)	0.2	0.2	0.2	0.2
一般廃棄物排出量	総量	(ｋｇ)	780	764	757	749
	原単位	(ｋｇ/百万円)	1.2	1.2	1.1	1.1
産業廃棄物排出量	総量	(ｔ)	1,200	1,176	1,164	1,152
	原単位	(ｔ/百万円)	1.8	1.8	1.8	1.7
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	97.0	100	100	100
グリーン購入	総量	(%)	65.0	66.3	67.0	67.6
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100.0	100.0	100.0	100.0
環境美化活動	総量	(回)	5	6	6	7

７．環境経営計画

期間：　2022年　7月　～　2023年　6月

項目		活動内容	担当者	期間
ＣＯ2 排出量削減	燃料使用量削減	作業休止時のエンジン停止	工事課長 佐々木	2022年7月～2023年6月
		過積載をせず効率の良い作業をする	工事課長 佐々木	2022年7月～2023年6月
		同じ現場への乗り合わせに努める	工事課長 佐々木	2022年7月～2023年6月
	電力使用量削減	不要な電灯の消灯	総務部	2022年7月～2023年6月
		空調の適正化（冷房28℃　暖房20℃）	総務部	2022年7月～2023年6月
		未使用電気製品の電源を切る	総務部	2022年7月～2023年6月
		倉庫の不要時の消灯	資材課　西岡	2022年7月～2023年6月
用水使用量削減（排水量削減）		節水に努める	総務部	2022年7月～2023年6月
		雨水、湧水による洗車	総務部	2022年7月～2023年6月
		パッキンの劣化を見落とさずすぐに修理する	総務部	2022年7月～2023年6月
廃棄物削減	一般廃棄物	ミスプリントの再利用	総務部	2022年7月～2023年6月
		分別・適正処理を行う	総務部	2022年7月～2023年6月
	産業廃棄物	必要最小限の資材を発注し、残余材の廃棄を少なくする	現場担当者	2022年7月～2023年6月
		廃棄物の、分別・リサイクル等適正処理をする	現場担当者	2022年7月～2023年6月
グリーン購入		環境に配慮した事務用品の購入	総務部	2022年7月～2023年6月
		エコマーク・グリーンマーク商品の購入	総務部	2022年7月～2023年6月
		詰替え用のある商品の選択	総務部	2022年7月～2023年6月
環境負荷の少ない工事		間伐材・県内産木材の使用	工事課長 佐々木	2022年7月～2023年6月
		工事資材は環境に配慮した資材を購入する	工事課長 佐々木	2022年7月～2023年6月
		環境配慮型工法の提案	工事部	2022年7月～2023年6月
		低騒音・環境配慮型機械の使用	工事課長 佐々木	2022年7月～2023年6月
		現場周辺の清掃	工事課長 佐々木	2022年7月～2023年6月

環境経営目標の実績

（1）本年度実績

項目	総量・原単位	単位	基準年 2019年度 2019.7-2020.6	2022年度 目標 2022.7-2023.6	2022年度 実績 2022.7-2023.6	実績値／目標値 （%）	評価
売上高		百万円	659	659	788		
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	（ℓ）	44,361	43,474	48,407	111.3%	×
	原単位	(ℓ/百万円)	67.3	66	61.4	93.1%	○
軽油使用量	総量	（ℓ）	129,874	127,277	114,009	89.6%	○
	原単位	(ℓ/百万円)	197.1	193	144.7	74.9%	○
灯油使用量	総量	（ℓ）	269	264	216	81.7%	○
	原単位	(ℓ/百万円)	0.4	0.4	0.3	68.4%	○
ＬＰＧ使用量	総量	（ｋｇ）	33	32	24	74.2%	○
	原単位	(kg/百万円)	0.1	0.05	0.03	62.1%	○
電力使用量	総量	（ｋＷｈ）	22,353	21,906	22,075	100.8%	×
	原単位	(kWh/百万円)	33.9	33	28.0	84.3%	○
CO_2 排出量	総量	（ｋｇ－CO_2）	454,386	445,298	418,712	94.0%	○
	原単位	(kg−CO2/百万円)	689.5	676	531.4	78.6%	○
用水使用量	総量	（m^3）	152	149	180	120.8%	×
	原単位	(m3/百万円)	0.2	0.23	0.23	101.1%	×
一般廃棄物排出量	総量	（ｋｇ）	780	764	497	65.0%	○
	原単位	(kg/百万円)	1.2	1.2	0.6	54.4%	○
産業廃棄物排出量	総量	（ｔ）	1,200	1,176	595	50.6%	×
	原単位	(t/百万円)	1.8	1.8	0.8	42.3%	×
産業廃棄物再資源化率	総量	（%）	97.0	100.0	99.9	99.9%	×
グリーン購入量	総量	（%）	65.0	65.7	40.0	60.9%	×
環境負荷の少ない工事	総量	（%）	100.0	100.0	100.0	100.0%	○
環境美化活動	総量	(回)	5	6	13	216.7%	○

＊１．電力のCO_2 発生量については、電気事業者別のCO_2 排出係数（2018年度実績）
（2020年1月17日公表）の四国電力の調整後排出係数0.528（kg－CO_2 ／ｋＷｈ）を使用した。
＊２．グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合（%）
＊３．環境負荷の少ない工事
○環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用
○低騒音、排出ガス対策型重機の使用
○型枠、工事看板への間伐材の使用
○濁水防止対策の実施
○法面緑化工事の実施
＊４．評価は、「○」、「△」、「×」で評価する。

＜環境経営目標未達成等理由＞

産業廃棄物ではコンクリート殻の増加が甚だしかった。
工事内容によるもので、致し方ない。

＜過去の実績＞

項目	総量・原単位	単位	2019年度 実績（基準年）	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績
売上高		百万円	659	1139	1090	788	
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	（ℓ）	44,361	43,264	43,472	48,407	
	原単位	(ℓ/百万円)	67.3	38.0	66.0	61.4	
軽油使用量	総量	（ℓ）	129,874	101,546	92,659	114,009	
	原単位	(ℓ/百万円)	197.1	89.2	140.6	144.7	
灯油使用量	総量	（ℓ）	269	180	705	216	
	原単位	(ℓ/百万円)	0.4	0.2	1.1	0.3	
ＬＰＧ使用量	総量	（ｋｇ）	33	31	30	24	
	原単位	(kg/百万円)	0.1	0.03	0.05	0.03	
電力使用量	総量	（ｋＷｈ）	22,353	15,236	71,822	22,075	
	原単位	(kWh/百万円)	33.9	13.4	109.0	28.0	
CO_2 排出量	総量	（ｋｇ－CO_2）	454,386	370,950	379,686	418,712	
	原単位	(kg−CO2/百万円)	689.5	325.7	576.2	531.4	
用水使用量	総量	（m^3）	152	166	140	180	
	原単位	(m3/百万円)	0.2	0.1	0.2	0.23	
一般廃棄物排出量	総量	（ｋｇ）	780	665	665	497	
	原単位	(kg/百万円)	1.2	0.6	1.0	0.6	
産業廃棄物排出量	総量	（ｔ）	1,200	815	3,128	595	
	原単位	(t/百万円)	1.8	0.7	4.7	0.8	
産業廃棄物再資源化率	総量	（%）	97.0	99.4	100.0	99.9	
グリーン購入	総量	（%）	65.0	66.0	64.0	40.0	
環境負荷の少ない工事	総量	（%）	100.0	100.0	100.0	100.0	
環境美化活動	総量	(回)	5	6	14	13	

９．環境経営計画の取組結果とその評価

期間：　2022年 7月　～　2023年 6月

項目		活動内容	取組結果	評価	見直し
ＣＯ2 排出量削減	燃料使用量削減	作業休止時のエンジン停止	○	守られている	継続して取り組む
		過積載をせず効率の良い作業をする	○	守られている	
		同じ現場への乗り合わせに努める	○	守られている	
	電力使用量削減	不要な電灯の消灯	○	守られている	継続して取り組む
		空調の適正化（冷房28℃　暖房20℃）	○	守られている	
		未使用電気製品の電源を切る	○	守られている	
		倉庫の不要時の消灯	○	守られている	
用水使用量削減（排水量削減）		節水に努める	○	なお一層努力する	節水は出来ていると思うが、今回は数値が高かった。
		雨水、湧水による洗車	○	なお一層努力する	
		パッキンの劣化を見落とさずすぐに修理する	○	守られている	
廃棄物削減	一般廃棄物	ミスプリントの再利用	○	大変良くできている	
		分別・適正処理を行う	○	なお一層努力する	出来ていないこともあるが、最終チエック
	産業廃棄物	必要最小限の資材を発注し、残余材の廃棄を少なくする	○	なお一層努力する	して処理している。
		廃棄物の、分別・リサイクル等適正処理をする	○	良くできている	
グリーン購入		環境に配慮した事務用品の購入	△	努めて選ぶようにしている	コピー用紙などはリサイクル品の方が割高である。
		エコマーク・グリーンマーク商品の購入	△	努めて選ぶようにしている	選びにくいという点もあり悩みどころである。
		詰替え用のある商品の選択	△	努めて選ぶようにしている	給湯室の物は詰め替え用を徹底する。
環境負荷の少ない工事		間伐材・県内産木材の使用	○	良くできている	継続して取り組む
		工事資材は環境に配慮した資材を購入する	○	良くできている	
		環境配慮型工法の提案	○	なお一層努力する	
		低騒音・環境配慮型機械の使用	○	良くできている	
		現場周辺の清掃	○	良くできている	

６．環境美化活動

ロードボランティア活動

会社周辺及び国道３２号線の清掃活動を行いました。
（国土交通省主催　88クリーンウオーク（年1回））
ロードボランティアは月1回、年間12回行いました。

（ロードボランティア）

（88ウォーク）

１０．次年度の取組内容

（１）環境経営目標

（１）単年度目標　　（2023年度）

項目	総量・原単位	単位	基準年 2019年度 2019.7-2020.6	2023年度 目標 2023.7-2024.6
売上高		百万円	659	659
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	44,361	43,030
	原単位	(ℓ/百万円)	67.3	65
軽油使用量	総量	(ℓ)	129,874	125,978
	原単位	(ℓ/百万円)	197.1	191
灯油使用量	総量	(ℓ)	269	261
	原単位	(ℓ/百万円)	0.4	0.4
ＬＰＧ使用量	総量	（ｋｇ）	33	32
	原単位	（ｋｇ/百万円）	0.1	0.0
電力使用量	総量	（ｋＷｈ）	22,353	21,682
	原単位	（ｋＷｈ/百万円）	33.9	32.9
CO_2 排出量	総量	（ｋｇ－CO_2）	454,386	440,754
	原単位	（ｋｇ－CO2/百万円）	689.5	668.8
用水使用量	総量	（m^3）	152	147
	原単位	（m3/百万円）	0.23	0.22
一般廃棄物排出量	総量	（ｋｇ）	780	757
	原単位	（ｋｇ/百万円）	1.2	1.1
産業廃棄物排出量	総量	（ｔ）	1,200	1,164
	原単位	（ｔ/百万円）	1.8	1.8
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	97.0	100
グリーン購入	総量	(%)	65.0	66.0
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100.0	100.0
環境美化活動	総量	(回)	5	6

＊１．電力のCO_2発生量については、電気事業者別のCO_2排出係数（2018年度実績）
（2020年1月17日公表）の四国電力の調整後排出係数0.528（kg－CO_2／ｋＷｈ）を使用した。
＊２．グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合（%）
＊３．環境負荷の少ない工事
〇環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用
〇低騒音、排出ガス対策型重機の使用
〇型枠、工事看板への間伐材の使用
〇濁水防止対策の実施
〇法面緑化工事の実施

（２）中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2019年度 実績（基準年）	2022年度 目標	2023年度 目標	2024年度 目標
売上高		百万円	659	659	659	659
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	44,361	43,474	43,030	42,587
	原単位	(ℓ/百万円)	67.3	66	65	65
軽油使用量	総量	(ℓ)	129,874	127,277	125,978	124,679
	原単位	(ℓ/百万円)	197.1	193	191	189
灯油使用量	総量	(ℓ)	269	264	261	258
	原単位	(ℓ/百万円)	0.4	0.4	0.4	0.4
ＬＰＧ使用量	総量	（ｋｇ）	33	32	32	32
	原単位	（ｋｇ/百万円）	0.1	0.0	0.0	0.0
電力使用量	総量	（ｋＷｈ）	22,353	21,906	21,682	21,459
	原単位	（ｋＷｈ/百万円）	33.9	33	33	33
CO_2 排出量	総量	（ｋｇ－CO_2）	454,386	445,298	440,754	436,211
	原単位	（ｋｇ－CO2/百万円）	689.5	676	669	662
用水使用量	総量	（m^3）	152	149	147	146
	原単位	（m3/百万円）	0.2	0.2	0.2	0.2
一般廃棄物排出量	総量	（ｋｇ）	780	764	757	749
	原単位	（ｋｇ/百万円）	1.2	1.2	1.1	1.1
産業廃棄物排出量	総量	（ｔ）	1,200	1,176	1,164	1,152
	原単位	（ｔ/百万円）	1.8	1.8	1.8	1.7
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	97	100	94	100
グリーン購入	総量	(%)	65.0	65.7	67.0	67.6
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100.0	100.0	100.0	100.0
環境美化活動	総量	(回)	5	6	6	6

１０．次年度の取組内容
（２）環境経営計画

期間：　2023年７月　～　2024年　6月

項目		活動内容	担当者	期間
ＣＯ2 排出量削減	燃料使用量削減	作業休止時のエンジン停止	現場担当者	2023年7月～2024年6月
		過積載をせず効率の良い作業をする	現場担当者	2023年7月～2024年6月
		同じ現場への乗り合わせに努める	現場担当者	2023年7月～2024年6月
	電力使用量削減	不要な電灯の消灯	総務部	2023年7月～2024年6月
		空調の適正化（冷房28℃　暖房20℃）	総務部	2023年7月～2024年6月
		未使用電気製品の電源を切る	総務部	2023年7月～2024年6月
		倉庫の不要時の消灯	資材課　西岡	2023年7月～2024年6月
用水使用量削減（排水量削減）		節水に努める	総務部	2023年7月～2024年6月
		雨水、湧水による洗車	総務部	2023年7月～2024年6月
		パッキンの劣化を見落とさずすぐに修理する	総務部	2023年7月～2024年6月
廃棄物削減	一般廃棄物	ミスプリントの再利用	総務部	2023年7月～2024年6月
		分別・適正処理を行う	総務部	2023年7月～2024年6月
	産業廃棄物	必要最小限の資材を発注し、残余材の廃棄を少なくする	現場担当者	2023年7月～2024年6月
		廃棄物の、分別・リサイクル等適正処理をする	現場担当者	2023年7月～2024年6月
グリーン購入		環境に配慮した事務用品の購入	総務部	2023年7月～2024年6月
		エコマーク・グリーンマーク商品の購入	総務部	2023年7月～2024年6月
		詰替え用のある商品の選択	総務部	2023年7月～2024年6月
環境負荷の少ない工事		間伐材・県内産木材の使用	現場担当者	2023年7月～2024年6月
		工事資材は環境に配慮した資材を購入する	現場担当者	2023年7月～2024年6月
		環境配慮型工法の提案	工事部	2023年7月～2024年6月
		低騒音・環境配慮型機械の使用	現場担当者	2023年7月～2024年6月
		現場周辺の清掃	現場担当者	2023年7月～2024年6月

１１．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

（１）環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

（環境関係法規）

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄の処理及び清掃に関する法律	第３条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	各現場担当者	遵守	2023年8月1日
	第１２条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	香川 明子	遵守	2023年8月1日
	第１２条の １０、１１項	多量排出事業者（年間１，０００ｔ以上）の計画の都道府県知事への提出・報告	必要時	筒井 繋和	遵守	2023年8月1日
	第１２条の三	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	香川 明子	遵守	2023年8月1日
	第１２条の三 ７項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事（高知県知事）への提出	年１回 毎年６月末	筒井 繋和	遵守	2023年8月1日
	第１４条 第１４条の一 １２項	産業廃棄物収集運搬業の都道府県知事の許可 （５年毎に更新） 産業廃棄物処理基準による収集運搬、処分	期限切れ ３ケ月前	香川 明子	遵守	2023年8月1日
資源の有効な利用の促進に関する法律 （資源有効利用促進法）	第４条	土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	各現場担当者	遵守	2023年8月1日
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	第５条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	各現場担当者	遵守	2023年8月1日
騒音規制法	第５条 第１４条	○騒音規制基準の遵守（特定工場等） ○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始７日前までに市町村長に届出）	必要時 必要時	各現場担当者	遵守	2023年8月1日
振動規制法	第５条	○振動規制基準の遵守	必要時	各現場担当者	遵守	2023年8月1日

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
大気汚染防止法	第１７条の２ 第１６条 第１７条 第１７条の２	○事業者の責務 ばい煙の大気中への排出状況の把握 ○ばい煙量等の測定 ○事故時の報告（都道府県知事への報告） ○事業者の責務 ばい煙の大気中への排出状況の把握	常時 必要時 必要時 常時	各現場担当者	遵守	2023年8月1日
大気汚染防止法 （解体工事）	第１８条 の１５ 第１８条 の１７ 第１８条 の２０ 第１８条 の２２ 第１８条 の２３	○解体等工事受注者は、石綿使用の有無（全ての石綿含有建材）について事前に調査し、発注者へ調査結果を書面で説明する。 ○特定粉じん作業開始の１４日前までに 発注者・自主施工者は、都道府県知事に届出 届出対象特定工事： ①吹付石綿(ﾚﾍﾞﾙ1) ②石綿含有断熱材・保温材・耐火被覆材(ﾚﾍﾞﾙ2) ○特定工事の元請け業者若しくは下請け業者は 特定粉じん排出作業において作業基準を遵守 ○元請業者の下請に対する粉じん排出作業を 適切に行うよう指導 ○特定粉じん作業完了後、結果を遅滞なく 発注者に書面で報告と記録の作成保管	必要時	各現場担当者	該当なし	2023年8月1日
労働安全衛生法 （解体工事）	第８８条 石綿則第５条	○解体工事の工事計画書を労働基準監督署長 宛に提出（着工１４日前までに） ○建築物解体等作業届を労働基準監督署長 宛に提出（作業前）	必要時 必要時	各現場担当者	該当なし	2023年8月1日

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
消防法	第８条 第１０条	○防火管理者の選任、消防計画の作成 （遅滞なく所轄消防長又は消防署長に届出） ○指定数量以上の危険物貯蔵の消防長 への許可 第１石油類　ｶﾞｿﾘﾝ：200ℓ 第２石油類　灯油、軽油：1,000ℓ 第３石油類　重油：2,000ℓ 第４石油類　潤滑油：6,000ℓ ｷﾞﾔ油、ｴﾝｼﾞﾝｵｲﾙ、ﾏｼﾝ油	必要時 必要時	各現場担当者	遵守	2023年8月1日
	第１７条の ３の２	○消防用設備等設置届書の消防署への提出	着工１０日前	各現場担当者	遵守	2023年8月1日
フロン類の使用の合理化及び 管理の適正化に関する法律 （フロン排出抑制法）	第１９条	○事業者によるフロン類の漏洩量等の報告 1,000 CO2-t/年以上、事業所所管大臣への報告	年１回	総務部	該当なし	2023年8月1日
	第１６条 第４２条	○定期点検の実施 エアコン：3.7kW以上50kW未満 エアコン：50kW以上 冷蔵機器、冷凍機：3.7kW以上 ○エアコンの簡易点検 ○点検及び整備に記録：廃棄後も３年保存 ○廃棄時：引取証明書（原本）：３年保存 ○廃棄物・ﾘｻｲｸﾙ業者へ引渡し時：引取証明写し ○特定解体工事元請業者の確認及び説明等 ・第1種特定製品の設置の有無確認 ・発注者に確認結果を書面交付、写しを3年保存	 １回／３年 １回／年 １回／年 １回／３ケ月 廃棄時 廃棄時 廃棄時 解体工事受注時	事務所 香川明子 重機 西岡秀二 各現場担当者	遵守 該当なし	2023年8月1日 2023年8月1日
浄化槽法	第５条 第１０条 第１１条	○浄化槽の設置の届出 ○年１回の浄化槽の保守点検、清掃実施 ○年１回の水質検査実施	着工２１日前 年１回	総務部	遵守	2023年8月1日
水質汚濁防止法	第５条	○特定施設の設置届 （施設の設置工事開始６０日前までに都道府県知事に届出）	必要時	各現場担当者	該当なし	2023年8月1日
	第７条	○特定施設の構造等の変更の届出 （施設の設置工事開始６０日前までに都道府県知事に届出）	必要時		該当なし	2023年8月1日
	第１４条の四	○事業者の責務 公共用水域又は地下水の水質汚濁防止の ための必要な措置の実施	必要時	総務部	遵守	2023年8月1日

（条例）

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
高知県環境基本条例	第６条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	各現場担当者	遵守	2023年8月1日
高知県清流保全条例	第２条	○事業者の清流保全の努力	必要時	各現場担当者	遵守	2023年8月1日
高知市環境基本条例	第５条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	各現場担当者	遵守	2023年8月1日
南国市環境基本条例	第５条 第２８条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理 ○事業者の地球環境保全への取組	必要時	各現場担当者	該当なし	2023年8月1日
香南市環境基本条例	第５条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	各現場担当者	該当なし	2023年8月1日
四万十町環境基本条例	第５条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	各現場担当者	該当なし	2023年8月1日
四万十市環境基本条例	第５条	○事業者の責務 環境負荷の低減、その他環境保全	必要時	各現場担当者	該当なし	2023年8月1日
おおとよの環境を守ろう条例	第５条	○環境の美化・保全に関する施策に協力しなければならない	必要時	各現場担当者	遵守	2023年8月1日

（２）環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2022年 7月より2023年 6月まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

作成年月日　　2023年　8月　25日

代表者
香川　豊彦

１２．代表者による全体評価と見直しの結果

■定期見直し
□臨時見直し

見直しに必要な情報

環境管理責任者の報告及び改善提案

【取組状況の評価結果】

①環境関連法規制等の遵守状況
　法令違反はありません。

②問題点の是正処置及び予防処置の状況
　今のところありません。

③前回までの代表者の指示事項への対応
防災訓練の年2回の実施は1回しか実施できなかった。
環境教育は、人を集めることが出来なかった為、文書を回して熟読してもらった。

＜改善提案＞
季節には関係なく、コロナが下火になっている時を判断し、開催する。

【環境経営目標・環境経営計画の達成状況】

目標項目	目標値 達成状況	経営計画 達成状況	コメント （目標値、活動計画に対するコメント）
電気使用量の削減	×	○	増加した
化石燃料使用量の削減	△	○	軽油の使用量は減少した
CO2排出量の削減	○	○	軽油使用量のの削減で達成できた
水使用量の削減	×	△	使用量が増加してしまった
一般廃棄物排出量削減	○	○	分別が上手に出来ている
産業廃棄物排出量削減	×	○	工事内容により変動がある
グリーン購入量	×	○	リサイクル品、詰替え用等選んで購入している
環境配慮工事・資材	○	○	再生品等、努めて購入している

＜改善提案＞
水使用量について、原因が解からない。社用車の増加でガソリンの使用量も増加したが
洗車についても貯め水では足りなかったかもしれない。毎月の推移を把握し、原因を
つきとめることとする。電気使用量については、残業を減らし、休日出勤を無くす。
必要ない出勤はさせないようにする。

【周囲の変化の状況】

①外部コミュニケーション記録より
　　外部からの苦情等はありませんでした。

②環境関連法規制等の動向他
　　法令違反はありませんでした。

＜改善提案＞

代表者が自ら得た情報

特にありません。

代表者による見直し

変更の必要性の有無・指示事項

【環境経営方針】

変更の必要性：　□有　　■無

今のところ、変更の必要はありません。

【環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制】

変更の必要性：　□有　　■無

今のところ、変更の必要はありません。

【その他】

変更の必要性：　□有　　■無

今のところ、変更の必要はありません。

【総括】（環境経営レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載）

コロナの影響は、第5類に移行してからの方が多いかもしれない。
今年度も、1か所に人を集めては勉強会などはちょっと出来かねた。
ガソリンの使用量が増加したが、職員の増加に伴い社用車も増加し
た。通勤についても会社が負担しているので、減らす努力はするもの
の、あまり効果はないように思う。乗り合わせやアイドリングストッ
プは徹底して出来ているのでみんなの努力は評価していいと思う。

電気の使用量については、社内の大部分がLED化されているので
もう少し減少してもいいのではないかと思う。
今年度は水中ポンプを使用するような作業が無かったので現場では
使用量が少なかった。事務所内で工夫する必要がある。

１３．その他の取組

環境イベント支援

支援イベント名	実施年月
88クリーンウオーク	2022年8月8日

社員3人が、国土交通省主催の88クリーンウオークに参加し、国道の清掃活動に参加しました。